

とやま 輝く!! 富(む)山の仕事人!!

川上～川下まで、森林・木材に関わる様々な分野で頑張る人を紹介します。

婦負森林組合 森林整備班 班長

白井 浩介さん

今回ご紹介する方は、婦負森林組合森林整備班の最年少班長として、主伐や間伐などの森林整備で活躍されている白井浩介さんです。



白井 浩介さん

1 経歴

白井さんは富山県内の人文系の大学を卒業して、すぐに婦負森林組合に就職。いきなり未知の世界へ進まれた理由をお聞きすると、冬にスキー場で働いていた森林整備班の方と知り合い、林業に興味を持ったことがきっかけとなったそうです。実際に就業してみても、林業は危険なこともあるけど、森林整備後に森林所有者の方に「いい(良い)がにしてくれたね。」と言ってもらえることが、やりがいがあるって面白い仕事だと思ったとのこと。

2 仕事のこだわり

白井さんは、森林での主伐や間伐のみならず、屋敷林の特殊伐採など様々な現場を約20年経験されました。我流も多い林業の現場で、基本技術に忠実であること、特殊伐採や作業道整備など仕事の幅Ⅱ選択肢を広げることが常に意識して、日々業務に励んでいるそうです。もう若くないと謙遜されますが、婦負森林組合の最年少班長として、上司や班員からの信頼も厚く、模範となっている様子がうかがえます。

3 林業への思い

昨今の林業担い手不足が深刻化している中、第一線で活躍されている白井さんに、林業への思いについてお聞きしました。

「林業は農業や漁業と違い、木材が製品に加工された状態で消費者に届くため、木材を産み出す森林と、木製品とのつながりが実感しにくいと感じている。そのため、整備された森林を目にされても、林業や木製品と結びついていないのではと、もどかしさを感じている。担い手不足の要因の一つとして、林業の意義、魅力が伝わりきれていないことがあると感じており、少しでも多くの人に知ってもらえるよう、高校生の体験林業や報道関係の取材など、後継者育成・広報活動にも引き続き積極的に関わり、今後の林業の発展に貢献していきたい。」とのこと。

4 今後の抱負

今後は、林業がより魅力のある職業となるよう、また若手職員が幅広い技術を身につけられるよう環境を整えつつ、ご自身も新たに森林所有者となられたことから、所有者の思いも汲み取れる、更に幅広い林業技術者として精進していきたいとのこと。

白井さんは、これまでの取り組みが評価され、去る5月29日に太閤山ランドで開催された「とやま森の祭典2022」において若き担い手を対象としたワクワクとやま農林水産奨励賞を受賞されました。今後も若き担い手の模範となる林業技術者として、益々のご活躍を祈念いたします。



チェーンソーで伐採中の白井さん

文責 富山農林振興センター森林整備課林政・普及班